

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワットマン

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 一郷

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理総務グループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡 TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,348	△7.9	57	115.5	62	75.6	△422	—
25年3月期第2四半期	1,464	△4.0	26	△78.2	35	△72.4	6	△94.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△38.61	—
25年3月期第2四半期	0.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,667	2,057	77.1
25年3月期	3,380	2,500	74.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,057百万円 25年3月期 2,500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	△8.0	150	0.8	160	△5.1	△260	—	△23.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	11,368,541 株	25年3月期	11,368,541 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	430,501 株	25年3月期	430,266 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,938,249 株	25年3月期2Q	10,938,580 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
【第2四半期累計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11
5. 補足情報	12
(1) 仕入及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や昨年末の政権交代に伴う金融緩和政策と円安・株高の進行に対する期待感から、一部に明るさを取り戻しているものの、欧州における債務危機、中国をはじめ新興国における経済成長の鈍化の影響等により、景気は緩やかな回復にとどまりました。個人消費についても、平成26年4月からの消費税増税による可処分所得減少に対する不安もあり、低調に推移する等、小売業界において厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社は当事業年度を事業拡大開始期間と位置付けており、成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的にすすめてまいりました。

平成25年5月31日には当社と株式会社ハードオフコーポレーションのフランチャイズ契約を解消し平成25年6月1日より当社は新ブランド「Super Recycle Shop WATTMANN」（スーパーリサイクルショップ ワットマン）を立ち上げました。新ブランドでは買取・販売する商品種類の拡充等による更なるお客様サービスの向上、コストダウンによる経営効率の向上、及び新規出店等による企業成長を目指しております。

営業政策面では将来の成長に向けて、売筋ジャンルの強化、積極的な買取と査定精緻化を進め、良品在庫の増大に努めてまいりました。また、早期売価変更と売場への継続的な商品供給を行い商品鮮度を維持するとともに、お客様目線の売場づくりを進め、お客様の購買意欲を高め、売上高の増加と売上総利益額・率の向上に努めてまいりました。

店舗政策面では、第1四半期会計期間において、ワットマンテック湘南台店、ワットマンテック座間店、ワットマンテック綾瀬店を開店し12事業所25店舗となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は、既存店では前年同四半期と比べ1.6%の減収とほぼ同水準を維持したものの、全社では前年同四半期と比べ1億15百万円（7.9%）減収の13億48百万円となりました。これは閉店した店舗の影響と、収益改善のためゲームの取扱を政策的に抑制した事により減収となったものです。商品カテゴリー別の売上高では、店舗減少により電化製品等が前年同四半期と比べ35百万円（13.3%）減収の2億32百万円、服飾が19百万円（4.1%）減収の4億54百万円、その他が4百万円（3.2%）減収の1億34百万円となりました。パッケージメディア（本・CD/DVD・ゲーム）は政策的にゲームの取扱を抑制し55百万円（9.5%）減収の5億27百万円となりました。

なお、前期に閉店した旧上郷店、旧川崎大師店及び旧北久里浜店以外を既存店としております。

売上総利益は、店舗減少等により売上が減少したものの、全社の売上総利益率が69.1%と前年同四半期に比べ5.6%増加したため、前年同四半期と比べ2百万円（0.2%）増益の9億32百万円となりました。商品カテゴリー別の売上総利益は、電化製品等が前年同四半期と比べ15百万円（8.9%）減益の1億56百万円、服飾が3百万円（1.0%）減益の3億37百万円、パッケージメディアが24百万円（7.8%）増益の3億33百万円、その他が3百万円（3.0%）減益の1億4百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、フランチャイズ契約解除に伴い店舗改装費用、広告宣伝費用、消耗品費等が増加があったものの、販売手数料（フランチャイズロイヤリティ）、店舗減少に伴う人件費、地代家賃等の減少により、前年同四半期と比べ28百万円（3.2%）減少の8億74百万円となりました。

この結果、営業利益は、前年同四半期と比べ30百万円（115.5%）増益の57百万円、経常利益は、前年同四半期と比べ26百万円（75.6%）増益の62百万円となりました。フランチャイズ加盟契約解約損4億50百万円、固定資産除売却損16百万円および減損損失13百万円等を計上した結果、前年同四半期と比べ4億29百万円減益の四半期純損失4億22百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて4億46百万円減少し、11億58百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億47百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2億66百万円減少し、15億8百万円となりました。これは土地を始めとする有形固定資産が2億4百万円減少、敷金及び保証金が46百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ7億12百万円減少し、26億67百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて2億26百万円減少し、3億39百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が1億円減少、1年内返済予定の長期借入金が54百万円減少、未払法人税等が16百万円減少、未払費用などその他流動負債が54百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べて43百万円減少し、2億70百万円となりました。これは主に、長期借入金が21百万円減少、長期預り金などその他固定負債が23百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ2億69百万円減少し、6億10百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ4億43百万円減少し、20億57百万円となりました。これは主に、土地再評価評価差額金が5億76百万円増加、利益剰余金が10億21百万円減少したことによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月13日付の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,143,330	695,687
売掛金	18,767	17,972
商品	350,379	338,686
その他	92,753	106,550
流動資産合計	1,605,230	1,158,897
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	361,910	350,457
土地	571,202	382,457
その他（純額）	56,165	51,673
有形固定資産合計	989,277	784,588
無形固定資産		
	23,425	22,034
投資その他の資産		
投資有価証券	109,370	100,541
敷金及び保証金	605,770	558,981
その他	47,250	42,515
投資その他の資産合計	762,390	702,038
固定資産合計	1,775,093	1,508,661
資産合計	3,380,324	2,667,559
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,518	12,372
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	124,597	70,553
未払法人税等	25,877	9,264
賞与引当金	16,000	14,000
その他	187,416	133,061
流動負債合計	565,409	339,251
固定負債		
長期借入金	149,415	127,540
退職給付引当金	4,498	6,645
その他	160,378	136,806
固定負債合計	314,291	270,992
負債合計	879,701	610,244

（単位：千円）

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,681,733	1,681,733
利益剰余金	1,048,896	27,809
自己株式	△57,250	△57,269
株主資本合計	3,173,380	2,152,274
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△250	766
土地再評価差額金	△672,506	△95,726
評価・換算差額等合計	△672,757	△94,959
純資産合計	2,500,623	2,057,315
負債純資産合計	3,380,324	2,667,559

（2）四半期損益計算書
第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
売上高	1,464,081	1,348,799
売上原価	534,287	416,769
売上総利益	929,793	932,029
販売費及び一般管理費	903,197	874,706
営業利益	26,595	57,323
営業外収益		
受取利息	3,205	2,858
受取配当金	5,901	1,371
受取手数料	4,693	4,258
雑収入	3,721	4,379
営業外収益合計	17,522	12,868
営業外費用		
支払利息	4,206	2,397
社債利息	1,992	2,109
雑損失	2,188	2,188
その他	98	915
営業外費用合計	8,484	7,611
経常利益	35,633	62,580
特別利益		
投資有価証券売却益	2,635	—
特別利益合計	2,635	—
特別損失		
固定資産除売却損	943	16,369
減損損失	—	13,943
店舗閉鎖損失	5,599	700
投資有価証券売却損	—	300
フランチャイズ加盟契約解約損	—	450,000
特別損失合計	6,542	481,312
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	31,726	△418,732
法人税等	25,131	3,697
四半期純利益又は四半期純損失（△）	6,594	△422,429

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 （△）	31,726	△418,732
減価償却費	40,886	37,177
減損損失	—	13,943
長期前払費用償却額	4,768	4,268
差入保証金償却額	629	972
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,000	△2,000
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,626	2,147
受取利息及び受取配当金	△9,106	△4,230
支払利息	6,198	4,507
有形固定資産除売却損益（△は益）	943	16,369
投資有価証券売却損益（△は益）	△2,635	300
フランチャイズ加盟契約解約損	—	450,000
売上債権の増減額（△は増加）	3,703	795
たな卸資産の増減額（△は増加）	31,594	11,692
仕入債務の増減額（△は減少）	△11,536	899
未払費用の増減額（△は減少）	△5,373	△19,711
未払消費税等の増減額（△は減少）	4,553	△7,390
その他の資産の増減額（△は増加）	2,047	4,988
その他の負債の増減額（△は減少）	△4,650	△27,390
小計	90,374	68,605
利息及び配当金の受取額	5,960	1,723
利息の支払額	△6,197	△4,498
フランチャイズ加盟契約解約に伴う解決金の支払 額	—	△450,000
法人税等の支払額	△7,330	△19,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,807	△404,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,814	△61,610
有形固定資産の売却による収入	—	203,640
無形固定資産の取得による支出	△7,433	△2,822
投資有価証券の取得による支出	△98,540	—
投資有価証券の売却による収入	111,767	9,990
長期預り金の返還による支出	△1,000	△24,000
敷金及び保証金の回収による収入	33,024	33,922
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,500
その他	△187	△544
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,815	154,075

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△84,968	△75,919
社債の償還による支出	—	△100,000
自己株式の取得による支出	△18	△19
配当金の支払額	△21,416	△21,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,403	△197,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,219	△447,642
現金及び現金同等物の期首残高	666,977	1,143,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	668,197	695,687

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は単一のセグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

第2四半期累計期間において、土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）による再評価を行った土地を売却し、当該土地にかかる土地再評価差額金の取崩を行いました。この影響により利益剰余金が576,780千円減少いたしました。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第2四半期累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
リユース事業	電化製品等	73,942	18.2	93.4
	服飾等	111,576	27.5	94.2
	パッケージメディア	190,678	47.1	68.7
	その他	29,011	7.2	99.2
合計		405,209	100.0	80.3

- (注) 1 金額は仕入価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
リユース事業	電化製品等	232,501	17.2	86.7
	服飾等	454,852	33.7	95.9
	パッケージメディア	527,359	39.1	90.5
	その他	134,085	10.0	96.8
合計		1,348,799	100.0	92.1

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
 2 上記の金額には、消費税は含まれておりません。
 3 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。